

一般質問 2018年 3月議会

観光施策・観光振興について

質問 渡辺 引田城が純日本の100名城に選定されたことから、引田城体験ARアプリケーションを800万円掛け新たな観光客誘致と文化の保護に取り組むとあるが、高額な制作費と毎年アプリの維持管理に50万円程の経費が発生する。

その予算があるのなら次のことを先に実行すべきではないか。

- ①城山の登り口整備や遊歩道の維持管理
- ②城山の案内看板の設置や遊歩道の案内や説明看板のリニューアル
- ③城山団地空き地を活用した駐車場整備
- ④城山ガイドの支援や文化財保護に係りのある組織との連携

答弁 市長 引田城跡は本市屈指の観光資源であり、この機会を捉えARを導入してPRにつなげたい。

感想 四国では、引田城だけが市が所有する史跡であり本市の観光資源として貴重な城跡であります。ARアプリのような一過性のブームに高額な予算を掛けるのではなく、計画的段階的に毎年予算を関係者の方と協議して投資していくことが必要です。その後ARアプリを調査した結果あまり効果が無い事が分かり執行していません。残念なのは、また一年観光振興が遅れることです。



引田高速バスストップ駐車場整備について

質問 渡辺 引田高速バスストップの駐車場スペースは土曜日、日曜日、祭日は早朝より満車状態で、平日でも空き駐車場スペースが少ない状況である。そこで、駐車スペースを増設してはどうか。

また、階段の高低差や夜は足元が暗く危険であることから手すりや照明を増設するべきと考えるが。

答弁 市長 三木町、津田町の高速バスストップの駐車場拡張事業は着手している。引田バスストップも今後いろいろな可能性について検討する。手すりや照明の増設については施設整備から20年近くが経過し、耐用年数も近づいていることから施設更新と併せた整備を要望する。



感想 高松自動車道全線4車線化完成に伴い引田高速バスストップは、今後も利用者が増えてくると推測されます。安心安全のためにも引田高速バスストップの改修は急ぐ必要があると考えます。



一般質問 2018年 6月議会

新しいひとの流れと人口減少について

質問 渡辺 本市の人口減少は加速度的に減少している。しかし、2017年に香川県への移住者は1375人で3年連続増加し過去最多を更新している。本市においても112人増加しているが、今後より有効な移住者を増やす取り組みが必要と考え次のことを伺う。

- ①これまでの人口減少対策をどう評価分析しているのか。
- ②移住、定住の課題と新たな施策の検討をしているのか。
- ③地域で不足している人材を重点的に支援した移住者施策は考えられないのか。

答弁 市長 これまでの地道な取り組みにより、手応えを感じているが、移住定住施策についてはこれといった決定打は無い、今後、成功事例を参考に研究していく。

感想 移住定住施策の評価分析をしていないように思われます。今後、効果のある施策と効果が出ない施策を分析して、新たな有効な施策を打つ必要が有ると考えます。



一般質問 2018年 9月議会

学校施設の空き教室利活用についてと人口増加につながる移住支援施策について



質問 渡辺 東かがわ市学校施設整備構想のもと平成23年に施設整備が完了した引田小学校では生徒数減少のため低学年から空き教室ができています。今後全ての学年で、中学校も含み1クラスになると思われますが、この現状をどのようにお考えなのか。

答弁 教育長 児童生徒数の減少傾向に少しでも歯止めをかけ、本市への転入児童生徒が増えればという思いで、子育て支援の充実、小中一貫教育の推進、英語教育の充実、特色ある教育施設の展開をしている。

質問 渡辺 市の確かな未来のために、人口増をさらに確実に進める為に移住者向け住宅地を造成し、住宅を建てる方に

土地を無償提供し、現在取り組んでいる若者定住支援や子育て支援に合わせて市外にアピールすることが有効と考えるが。

答弁 市長 全国的に見ましても幾つかの市町村で住宅用地を無償で提供する制度はあるが、移住施策として掛ける費用に対する効果が見合うか慎重に見極める必要が有る。

感想 合併特例債、過疎債などを活用して学校施設などを新しく統合建設しているが空き教室も出てきている。多額の予算を使っている学校施設を無駄にしない為にも確実な計画的な人口減少対策施策を進めていく必要があると考えます。

